

自彊前進

題字 西村直子

NO. 20 令和5年9月12日(火)

新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

教育実習について

先週より教育実習期間が始まりました。38名の実習生が附属新潟中学校配属となり、実習期間は2週間もしくは4週間となります。一般の公立中学校でも教育実習生を受け入れています。附属新潟中学校には、どの学校よりも多くの実習生が割り当てられます。当校は大学の附属であり、教育実習は附属学校として大切な使命の一つだからです。

ところで、教育実習生は英語で student teacher と言います。student と teacher の順番が大切であり、大学生 (student) でありながらも、学校には教師 (teacher) として着任していることから、立場は教師 (teacher) なのです。教育実習生もこの意識をもって実習に臨んでいるはず。附属新潟中学校の先生方も皆、学生の時教育実習を経験しています。それまで一度も教壇に立ったことなどなかったのも、とても緊張しながら実習に臨みました。その時出会った生徒のことは、今でも覚えています。是非先生方に当時のことを聴いてみてください。

「一期一会」という言葉があります。もともと茶道の心得を表した言葉で、「どの茶会でも一生に一度のもの」と心得て、主客ともに誠意を尽くすべきことをいう」といった意味が込められているようです。実習生だからといって、いつもと異なるような特別な振る舞いは必要ありません。しかしながら、授業に向けて、緊張しながら、時に睡眠を削り一生懸命に授業準備をしてきた実習生に対して、『誠意を尽くす』という気持ちはとても大切です。誠意の尽くし方は人それぞれでしょう。あなたはどのように誠意を尽くしますか？

～実習生(副教生長)の挨拶～

附属新潟中学校の皆さん、こんにちは。新潟大学教育学部から来ました教育実習生の三井千鶴です。今日から38人の大学生が二週間または1ヶ月の教育実習に臨みます。普段の授業や休み時間はもちろん、実習期間中には演劇発表会もあるそうで、皆さんと過ごせる学校生活がとても楽しみです。よろしくお願ひします。

～演劇活ポスター～



1 学年演劇

『かがみの孤城』



2 学年演劇

『君はきっと
まだ知らない』



3 年 1 組演劇

『明日の僕に
風が吹く』



3 年 2 組演劇

『The MANZAI』



3 年 3 組演劇

『走れメロス』

～保護者の皆様～

先日ご案内差し上げたとおり、遠的発表会当日の様子について、YouTube にての配信はいたしません。当日の保護者の参観については可能ですが、感染症、熱中症の対策から、お子さんの所属学年のみの参観とさせていただきます。何卒よろしくお願ひします。